

蔵出しお宝ニュース

— 第 5 号 —

三原市歴史民俗資料館では、本年度より所蔵資料の本格的な整理・展示のリニューアルに取り組んでいます。本紙では、資料館内で長らく眠っていた三原市ゆかりの貴重な資料の解説と、行事の案内・紹介などを随時行って参りたいと思っております。

ちようちん さまざまな提灯 見つかる

提灯は現在の懐中電灯のような役割の民具ですが、用途に応じていろいろな種類があります。鯨くじらのひげで作られた柄が伸び縮みする馬上提灯ばじようちようちん、門前などに用いる高張提灯たかはりちようちん、格調ある行列に用いる箱提灯はこちようちん、携帯用の小田原提灯おだわらちようちん、そして弓張提灯ゆみはりちようちん、盆提灯ぼんちようちんなどさまざまです。かつて屋敷の玄関内側の棚などに紋付の提灯箱が並べられていました。提灯箱の中には用途に応じた提灯が畳んで入れてあり、夜分に何かあれば用いていました。



資料館にはたくさんの種類の提灯が保管されています。全体的に保存状態は良好ですが、ものによっては雨除けのために紙に油が引いてあるため、その油が乾いて紙が割れているものもあります。資料整理中、小田原提灯も2点発見しました。そのうち1点は中が空洞でろうそく入れを兼ねた柄がついており、大変おもしろいです。

資料館1階の蔵出しお宝ミニ展示コーナーに、提灯の中でも現在あまり見かけることのない箱提灯、小田原提灯、提灯箱を展示いたしております。どうぞご覧ください。



(上) 箱提灯
(左) 小田原提灯
(右) 提灯箱

「昔風 やっさ踊り」高評価

8月3日（金）から12日（日）の10日間、ペアシティ三原西館2階市民ギャラリー・ギャラリー1にて、三原市観光文化課と三原市歴史民俗資料館の共同主催で「私たちのやっさ踊り展」を開催いたしました。第37回三原やっさ祭り協賛行事で、連日たくさんの方の見学者で賑わいました。展示内容はやっさ踊りの歴史や衣装、やっさ祭り歴代ポスターや絵はがき、やっさグッズ、三原市内のやっさを探そう！などでした。特に古写真や大阪万博やっさ踊り出演映像のコーナーが人気で「若かりし頃の自分だ」「私の父親だ」というようなお声をたくさんいただきました。長年やっさ踊りを踊って来られた方々もご家族連れでお見えでした。

アトラクションとして5日（日）の午前11時と午後2時に三原やっさ踊り振興協議会の皆様による「昔風やっさ踊り」の特別披露を行いました。開演時間になるまで、三原が市制を敷いた昭和11（1936）年にレコード化された美ち奴が唄う「三原をとめ」を流し、ムードを高めました。



昔風やっさ踊り

昔風のやっさ踊りだけあって、現在おどられているやっさとは唄や楽器、囃子言葉や衣装が若干異なり、緩やかなテンポで、踊りも腰を入れた落ち着きのある所作でした。「誰やなそうな、おとなしやごめんよ」という囃子言葉や手に持つ四つ竹に鼓、時には足を前に出す踊りの様子は、会場内の古写真から踊り手と^{じかたえんそう}地方演奏が抜け出してきたかの如き様子でした。

即興で、かつて4月に行われていた三原春まつりで踊られた「三原小唄」、旭町の人々が中心となって踊られた「三原ままよ節」もご厚意でご披露くださいました。

フィナーレは現在のやっさ踊りをご披露いただき、アンコールで会場の皆様と一緒に総踊りを行いました。昔風やっさ踊りを見られた皆様から「ぜひ三原の文化を後世まで伝えてほしい」「やっさ祭りの本番でも見たい」「昔を思い出した」というありがたいお言葉を頂戴いたしました。

おかげさまで本企画展も無事終了いたしました。本企画展開催にあたり、資料所蔵先をはじめとすること協力いただきました団体・個人の方々に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



（左）昔風やっさ踊り 地方演奏
（右）さまざまなやっさグッズ
（下）貴重なやっさ衣装



発行 平成24年（2012）8月27日

〒723-0015 三原市円一町2丁目3-2

（三原市立中央図書館北隣）TEL 0848-62-5595

三原市歴史民俗資料館 山崎愛一郎 編集

※本冊子に掲載の写真などは、許可なく転用なされないようお願い申し上げます。